

高松・屋島ジオパーク構想予備調査の結果について（報告）

1. 屋島の日本ジオパーク認定の可能性について

屋島だけを対象地域とすると、認定条件であるジオの多様性が不足するので、高松市沿岸部もしくは高松市全域を対象とした方が、素材が豊富なため日本ジオパークに認定される可能性が高い。ただし、世界ジオパークを目指すには、世界的価値のある坂出市のサヌカイトと小豆島の三都半島が不可欠である。周辺自治体と協議しながら世界ジオパークを目指すことも視野に入れて検討していくことが望ましい。

2. ジオパークの効果（アンケート調査から）

各ジオパークでは、3点を効果としてとらえている。

- 教育
- 観光
- 地域の一体性



3. 屋島から香川県全域まで【ジオパーク区域分け】

ジオパークとしての範囲	多様性	ジオパークとしての価値
屋島	少ない	日本ジオパークレベル
高松沿岸部	↓ ジオサイト数	日本ジオパークレベル
高松市全域		日本ジオパークレベル
高松市周辺		世界ジオパークレベル
香川全域	豊富	世界ジオパークレベル

※認定のため他自治体との調整を要する

※ジオサイト数がストーリーの多様性をうむ

※高松市周辺、香川全域では世界ジオパークも可能（世界的ジオサイトを含むため）

世界的なサヌカイト楽器の産地（坂出市金山）、サヌカイトマグマに関する世界的価値（小豆島町三都半島）、世界最古のナマズの化石（さぬき市）

4. 認定に向けて課題、問題点の整理

(1) 計画にあたって配慮すべき主なこと

- ア 中長期的な計画の立案
市総合計画に位置づけられること
- イ 住民と関係団体等との組織化
- ウ 住民・関係者と関係団体等との調整、組織化
経済団体、教育関係者、観光関係者など
- エ ジオパーク、ジオストーリーの骨格設計
- オ ジオパーク活動推進母体の選択
- カ 認定に向けての行動計画の策定、実施

(2) 事前に実施すべき主なこと

- ア 日本ジオパークか世界ジオパークか方針の決定
認定後における地域の拡大も可能
- イ 日本ジオパークネットワークとの関係構築
行事への参加等／準会員
- ウ 便益施設と中核施設の計画、決定、整備
案内板、説明板（日本語＋外国語）など
石の民俗資料館ほか
- エ ジオサイトの調査、決定
- オ ジオツアーの計画と実施

(3) 人材の育成、確保

- ア ジオパーク活動、中核施設を担う専門職員確保
- イ ガイドの育成と組織の設立
ガイドの研修会、学習会の開催
ジオサイト拠点での活動、中核施設との連携
- ウ ガイド組織による学習会の開催
- ウ 市民の啓発と巻き込み、賛同の獲得
- エ ジオ関係大学研究者等の活用

(4) その他

- ア 複数の地方公共団体で行う場合の協議等
- イ 必要経費の算出、収入の見通しの確立
- ウ 申請時期
充分な対処、早急な申請は避ける
- エ 再認定の問題

5. まとめ

ジオパーク認定を目指すためには、屋島だけでなく、香川県や広域連携中枢都市圏を始めとした周辺自治体との連携が必要である。